

九州支部総会

2017年10月14日

小倉リーセントホテル
(北九州市)



2017年度 同窓会支部 総会報告

高知県支部総会

2017年8月19日

リバーサイドホテル松栄
(高知市)

大阪支部総会

2017年10月21日

メルパルク大阪
(大阪市)



関東支部総会

2017年11月18日

アルカディア市ヶ谷
(千代田区)

講演 杉本孝作 四国学院大学副学長
『四国学院 今昔物語』

岡山県支部総会

2017年11月3日

オルガホール
(岡山市)

講演 滝本清文
四国学院大学非常勤講師
『新聞おもしろ話—
ニュース報道の現場から』



広島県支部総会

2018年1月27日

福山ニューキャッスルホテル
(福山市)



徳島県支部総会

2017年11月18日

ホテルグランドパレス徳島
(徳島市)

講演 ムアングィ・ゴードン
四国学院大学教授
『ワンガリ・マーザイと
ベアテ・シロタ・ゴードンと日本』



CONTENTS

2017年度支部総会報告 …p1
 2018年度支部総会案内 …p2
 同窓生からの便利 …p4

サークル紹介 ……p4
 Welcomeホームカミング ……p4
 同窓会からのお知らせ ……p6
 大学関連 ……p7

発行日/2018年6月 発行者/四国学院同窓会
 〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号 e-mail rogosu@sg-u.ac.jp



0120-459500

TEL 0877-62-5500(直通) 平日8:30~17:00 FAX 0877-63-4599

2017年11月 母校の大学祭に参画して

井下美保(1999年度人文学科卒業)



2017年11月11日、大学祭で香川県支部として『カレーうどん』屋台を出しました。大学祭当日、朝、ロゴス館に同窓生20名ほどが集まり、大量の玉ねぎ、じゃがいも、人参をカットし、300食完売を目標に『カレーうどん』作りが始まりました。お互いに近況報告をしたり、思い出話をしたりと、和やかな雰囲気なかで作業はすすみ、屋台オープン前にはお揃いの同窓会Tシャツに着替え「学生との交流を大切にしましょう!」とミーティングをしました。卒業以来の大学祭でしたが、学生に混ざり、賑やかに参加しました。学生と話をしているうちに、在学時にタイムスリップした気分になり、楽しい一時を過ごさせていただきました。そのうえ『カレーうどん』も完売することができました。

また、私は大学と協力協定校である学校法人瀬戸内学院(四国学院大学香川西高等学校等)に勤務しており、四国学院大学に進学した高校の卒業生達が生き生きと大学生活をおくっている姿を見ることができ、とても嬉しく感じました。大学生と交流する機会が少ない中で、今回の大学祭に参加できたことは貴重な体験になりました。また、学生や保護者の方々にも『同窓会の存在』を身近に感じてもらえる良い機会になったのではないかと思います。今後も大学祭等さまざまなイベントに参加し、同窓生や学生達と交流を持ちつつ、同窓会活動を広げていけたらと思っています。

私は、当日のみの参加でしたが、レシピの考案、食材の買い出しと、事前準備をしてくださった方々、またこのような機会を与えてくださった大学関係者の皆様に心より感謝いたします。楽しい思い出の一時を有難うございました。



2018年度同窓会支部総会のご案内

各支部総会への四国学院大学在学生の参加もお待ちしております。

滋賀県支部総会

- 開催日時 2018年9月22日(土)
 - 受付10:30~11:00 ● 講演会11:00~12:00
 - 支部総会12:00~12:30 ● 懇親会12:30~14:30
- 会場 「立命館大学びわこ・くさつキャンパス ユニオンスクエア 2階ラ・ポーズ」
草津市野路東1-1-1 TEL.077-561-2617
- 会費 3,000円
- 返信締切 2018年8月22日(水)

講演会 『今の子ども遊びから見えること』

子どもの遊び環境は時代とともに大きく変化しました。現代社会に生きる子どもたちにとっての遊び、特に屋外での遊び経験の意義を共に考えてみましょう。

講師／清水幸一 四国学院大学教授

1980年度社会福祉学科卒業後、大阪YMCAやシンガポールYMCAの社会教育や国際協力の現場で25年間働き、その後、大阪体育大学大学院でスポーツ科学を専攻、2009年春、教員として母校に赴任。「神に愛され、人を生かす教育」を目指す。また、学生時代から続けているバドミントン、体育の授業では負けなしと自負。四国学院大学サッカー部部长また四国学院同窓会副会長も務める。



九州支部総会

今年10月に大分県別府市で九州支部総会を下記のとおり開催いたします。早いもので、3年前に大分県別府市で九州支部が設立され今年度で4回目となりました。昨年の総会で協議いたしましたように、九州内の交通アクセスの現状より可能な限り会員の皆様がお集まりやすい場所という事で、今回は2回目の別府市での開催となりました。ご承知の通り別府市は世界でも有数の温泉都市であります。朝の6時半から100円で温泉に入浴出来るのは日本では別府だけです。そんな湯の街「別府」で、今年度も年代を越え母校と同じくする九州在住の同窓生方々との親睦を深めていきたいと願っております。九州だけではなく、どなたでも気軽に参加できますので、お誘いの上、ご参加いただけますよう心よりお待ちしております。(支部長 黒木幹雄)

- 開催日時 2018年10月20日(土)
 - 受付14:00 ● 支部総会15:00~16:00
 - 講演会16:00~17:00 ● 懇親会18:00~20:00
- 会場 「ホテル臨海」別府市北浜3-10-15 TEL.0977-22-3361
*JR別府駅から徒歩15分、別府タワーの裏側です。
*駐車場に限りがございますので、マイカーでのご参加の有無を事前にお知らせください。
- 会費 ①宿泊+懇親会15,000円(朝食代込) ②懇親会のみ8,000円
- 返信締切 2018年9月7日(金)
- お問合せ e-mail 加嶋靖彦 cw788722@rg8.so-net.ne.jp

講演会 『大学教育の将来を問う』

高大接続改革以降、保幼小中高大の連続性が強調され、新しい教育の目的が示されました。そうした教育改革の3つの柱を通して、社会が大学に求めているものを一緒に考えたいと思います。

講師／杉本孝作 四国学院大学副学長

1972年大阪大学卒業までは大阪に在住、その後10年、東京で暮らし、1982年四国学院大学に着任。大学、大学院時代は有機合成化学が専門、現在は、大学教育、理科教育、環境教育をテーマに教育と研究を進めている。教務部長、短期大学学長事務取扱を歴任、短大の最後を看取る。現在は副学長(教学担当)を務め、学生との年齢ギャップに日々苦悩している。



愛媛県
支部総会

- 開催日時 2018年11月17日(土)
 - 講演会 15:00~16:30
 - 支部総会 16:40~17:10 ● 懇親会 17:30~19:30
- 会場 「国際ホテル松山」松山市一番町1-13 TEL.089-932-5112
- 会費 4,000円
- 返信締切 2018年9月30日(日)

講演会 『野球王国四国』

背番号48・現在の四国アイランドリーグplus・日本における指導者のあり方

講師／天野浩一 香川ベースボールアカデミー代表

高松東高校・四国学院大学・広島東洋カープ・香川オリブガイナース・福井ミラクルエレファント(コーチ、監督)・
香川オリブガイナース(コーチ)・香川オリブガイナースベースボールアカデミー(代表)・天野野球塾(代表)
現在 香川オリブガイナース(コーチ)・香川ベースボールアカデミー(代表)



関東
支部総会

- 開催日時 2018年11月17日(土)
 - 支部総会 13:30~14:00 ● 講演会 14:15~15:15
 - 懇親会(コーヒータイム) 15:15~16:00
- 第一部
 - 会場 「アルカディア市ヶ谷」千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-9921
 - 会費 2,000円
- 第二部
 - 食事会 17:00~19:00
 - 会場 「三晴」新宿区市谷田町2-38シティ市ヶ谷B1F TEL.03-3268-6207
 - 会費 3,000円程度
- 返信締切 2018年11月3日(土)

講演会 『文化芸術活動と地域創造～エディンバラ・フェスティバルを中心に～』

講師／橋本一仁 四国学院大学教授理事、リエゾンセンター長、社会学部長ほか

1971年四国学院大学英文学科卒業、1973年上智大学大学院(英米文学専攻)修士課程修了。徳島大学教員を経て、1977年四国学院大学赴任。英米演劇や国際関係科目を担当。6年間学生・市民と演劇公演活動も行う。1983年～84年ロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ・カレッジ演劇学科客員研究員。1995年～99年四国学院大学・短期大学学長。2003年よりカルチュラル・マネジメント学科で文化芸術政策やアーツ・マネジメント科目等も担当。現在「かがわ文化芸術祭」や「さぬき映画祭」実行委員長を務め、文化芸術活動による地域創造の実践に参加している。2016年度香川県文化功労者受賞。著書に「現代英米演劇作品論」「エンザからエジンバラまで～演劇プロフェッサーの比較地域文化論」ほか。



香川県
支部総会

平素は同窓会活動にご理解とご支援を賜りまして御礼を申し上げます。以下のとおり、香川県支部総会を開催致します。この度、大学支援の一環として、また同窓生の支部活動として、Notos support membersに登録いたしました。(四国学院大学主催で行われる演劇公演の観劇が可能。)支部総会当日は大学祭であり、「青年団」による公演「ソウル市民」が学内で上演されます。(詳しくは大学HP)。つきましては、同窓生をご招待させていただきます。(支部総会参加者で演劇ご希望の方は、同封の出欠ハガキでお知らせください。)(支部長 飛田由香)

- 開催日時 2018年11月18日(日)
 - 受付 12:30 ● 支部総会 13:00~14:00 ● 講演会 14:30~15:30
 - 懇親会 16:00~17:30 ● 演劇「ソウル市民」(青年団) 17:30~19:30
- 会場 「四国学院大学共生館2階喫茶室」 ※チケットは当日お渡しします。
- 会費 3,000円(懇親会)
- 返信締切 2018年9月30日(日)

講演会 『山本周五郎文芸とキリスト教——『赤ひげ診療譚』を中心に——』

講師／島達夫 四国学院大学文学部教授

1952年7月大阪にて出生。関西学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了。1983年四国学院大学に赴任。父の生まれ故郷である香川に来て35年以上が過ぎました。その間、文学部長、副学長、理事を歴任。現在は評議員を務めています。主な論文は「山本周五郎『さぶ』論」「山本周五郎『五瓣の椿』論」「有島武郎をめぐる人々」「有島武郎の田園と都市」「山本周五郎と黒澤明」「山本周五郎『栄花物語』」などです。



沖縄県
支部総会

- 開催日時 2019年2月16日(土)
 - 会場 「沖縄県市町村自治会館」(那覇市)
- 詳しくは四国学院同窓会HPにてご案内をさせていただきます。

四国学院同窓会ホームページ
でもご確認ください。

各講演会は、一般の方も聴講できますので、ご友人、ご家族様と一緒にお願いします。
近隣支部への参加、勤務地や開催日にお近くにいらっしゃる等、どの支部でも参加は自由です。

1. 申込方法

①同封のハガキにて返信 ②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp

②の場合、ハガキと同様、必要項目を入れて送信ください。受信確認の返信をしますので連絡がない時は、お手数ですが、TELでご一報ください。

2. お問い合わせ

「四国学院同窓会事務局」①0120-459-500(平日8:30~17:00) ②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp
携帯電話、登録アドレスに支部総会のご案内をさせていただく場合がございます。

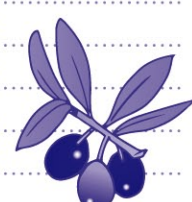


蘇京玉(ソギョンオク)

2004年度英文学科卒業 韓国全羅北道完州郡在住

私は、2005年に卒業させて頂いた韓国人です。韓国の全州にある全州紀全大学を2003年に卒業したあと四国学院大学の3年生に編入させていただきました。四国学院大学にかよった2年間は、私の生涯にとって非常に大事なターニングポイントになりました。外国語の勉強を始め、外国の文化や生活、外国人のお友だちなど色んな経験ができました。一番良かったのは日本人の優しさと親切な対応だと思います。特に外国人に対して最も優しくして頂いた事はまだまだ覚えています。

私は韓国に帰って来て観光通訳ガイドとして働きました。専業主婦として何年間は休みましたが去年の夏頃からまた観光通訳ガイドのお仕事を始めました。私の役割は韓国人のお客様を日本に連れていくことです。日本の旅を計画する人々に私は迷わず四国の香川をお勧めしています。香川専門の通訳ガイドになりたいと思っております。去年の夏か今年の3月まで5のグループを連れて香川を訪ねましたが、日本的な雰囲気や綺麗な街、美しい直島やオリーブの小豆島等に皆大満足して嬉がっています。香川の旅はまた6月と8月、ますますあると思います。私の心の中の第二の故郷を皆も気に入って喜んでくれて嬉しいです。私は日本語の観光通訳だけではなく出来れば両国をもっと近づける掛け橋の役割も目指しています。



四国学院大学の卒業生であることは、今までもこれからも私の誇りであることは違いありません。有り難うございます。



四国学院大学サークル紹介

バドミントン部

私たちバドミントン部は、現在男子13名女子4名の計17名で活動しており、月・水・金曜日の17時から21時まで、大学の第一体育室にて練習に励んでいます。今年も新入部員が増えまして、小学生からバドミントンをしているメンバーもいれば、大学から始めたメンバーもあり、さまざまなレベルで練習を行っております。最近では、土曜日や日曜日など休みの日に他大学との合同練習を行うことも増えてきました。夏には四国地区大学総合体育大会に出場しており、今年も上位入賞を目指して頑張ります。アットホームな雰囲気でもとても親しみやすいメンバーばかりなので、大学に寄せられた際は是非いらしてください。四国学院大学バドミントン部をよろしくお願いします。



主将 社会福祉学部3回生 三谷隆仁

Welcomeホームカミング

河野昭文(1983年度英文学科卒業 広島県三原市在住)

冒頭外連無き観点から申し上げておかなければならないことは今現在の私があるのは本学のお蔭であり、お世話になった先生方、先輩方、協力してもらった同期生、後輩の皆様方のお蔭の賜物であると、先ずは感謝の意を表したいと思います。と同時にその意を表現できるこの機会には私にとりまして上梓に匹敵する貴重な寄稿になるものと思い、お世話になった皆さまへの恩返しのご縁でペンをとらせていただきました。

私は現在広島県の尾道高等学校に勤務させていただいており、同時にバドミントン部の顧問として生徒と一緒に学習や部活動に日々全力で取り組んでいます。数年前に高校のバドミントン部の夏期合宿場所として貴学院のご協力を得ることが出来、以後継続して実施してまいりました。当然貴大学バドミントン部の学生さんたちには練習指導から練習試合の相手まで嫌な顔ひとつせず引き受けていただき、本当に感謝いたしております。この紙面をお借りしまして篤くお礼を申し上げます。(写真上)

実は私も学生時代バドミントン部の一員で初心者として大学から競技を始めました。そういうわたしは競技自体全くものにならず、試合で勝った思い出はあまりなく四国インカレ初出場の時などはまだフットワークも出来ておらず、シャトルを捕らえるのに回転レシーブの如くコートの中を駆けまわって拾ったため試合後先輩から『君はバレーボール部か?』と言われたぐらい、いつ思い出してもその光景たるや、応援してくださっている周囲の先輩方からすれば、バドミントンからかなり掛け離れたプレイスタイルだと思われた事は想像に難くありません。更に試合に負けると主審をしなければいけないのですが、私の場合初めて正規の試合の主審の重責に舞い上がって当惑し、困っているところを、自分が担当している当事者の選手の人からポイント記入を教えていただいたという奇妙な主審体験の持ち主であり、一体どちらが主審かわからない感じていたが、初仕事を終えたそんな私を先輩方は怒らず、あきらめず、親切に指導してくださり、本当に改めて感謝し偉大な先輩方であることを再認識してもらっております。初出場したその時のインカレ男子団体は先輩方の大活躍で三位入賞、個人戦もダブルス、シングルス共に三位だったと記憶しています。女子シングルスに至っては決勝戦進出を果たされ見事優勝をされその時は男子部員も全員で応援しまして見事な試合内容に深い感銘を覚え、凄く先輩方が遅く、素晴らしい誇りに思えた事を思い出します。(写真下は学生時代のものです。)

そういった公式戦前に行う合宿など当時はまだ現在のロゴス館の様な専用の炊事調理場所やシャワー室、寝室など環境整備が整っている施設がなく、クラブハウスの二階で寝食を共にしながら懸命に皆で協力し合い頑張っていたことも懐かしく思い出されます。

ロゴス館の存在とその果たしてきた役割は地道なまでに堅実なものであり、利用される多くの方々の利用用途に適切順応できる工夫やアイテムが順次完備されていき今後なお一層利便性が高まるものと確信しております。何よりこの施設を管理運用されておられる同窓会の方々、職員の皆様のご尽力には本当に有り難く感謝いたしており、頭の下がる思いです。

今後多くの方々に愛され充実進展していくロゴス館であることを期待して止みません。



同窓会しました!

ESS OB会

岡田良敬「ESSOB会代表」(1971年度英文学科卒業 尼崎市在住)

昨年(平成29年)12月2日(土)に「高松センチュリーホテル」で一昨年に引き続きOB会を行いました。ご案内状(往復はがき)を155通発送。住所ラベルは同窓会事務局にお願いしました。出席者は12名。近況報告やESSでの思い出などアツという間の2時間でした。欠席のご返信58通の内39名の方からメッセージのご記入があり、全員のメッセージを一覧にまとめて参加者に配布いたしました。懐かしい方々からの近況報告がありOB会の有難さを実感いたしました。しかし、85名の方々からは返信がいただけずなしのついでで残念でした。次回OB会は普通寺でという声が多く、11月18日(日)の学院大学祭に合わせての実施を検討中です。ご案内をお楽しみに!! [追伸]「欠席者からのメッセージ一覧」をご希望の方は、岡田までご連絡ください。お送りいたします。



青春の光を見た一日

田子統子「岡田ゼミ」(1970年度社会福祉学科卒業 板野郡在住)

みなさんお元気ですか?1970年(昭和46年)社会福祉学科卒業(42名)の私たちは、昨年2017年11月6日に高松市内の「ホテルクレメント高松」に於いて、47年ぶりの同窓会を持ちました。2013年(平成25年)9月28日には、「恩師を追悼する同窓会」が年代を横断して開かれ喜びの再会を果たしたのですが、クラス単独としては初めての(そしておそらく最後の)同窓会でしたので、消息をたどるのも大変でしたが、「追悼」の時と同様、学院同窓会事務局のご協力を得て、無事案内状発送にこぎつけた次第です。本当にお世話になり有難うございました。当日の参加者は12名(男性1、女性11)と少数でしたが、何しろ万博の春にお別れて以来という方も多く、懐旧談に花が咲いた楽しいひとときでした。お互いに「もう会えないだろうな」と思いつつ散会したのが正直な気持ちです。だからこそ時をやりくりして集い合った意義もありましょう。古稀の坂に青春の光を見た一日でした。



斎藤真人(1979年度社会福祉学科卒業 神戸市在住)

2017年8月5日、社会福祉学科1979年度卒業生の同窓会を開催しました。今回は2回目で、1回目は卒業してから30年後の2009年に開催。そして今回は還暦の年を記念して普通寺の“魚七”で開催しました。今回は、同窓会事務局が住所のラベルを作って下さったので準備の段階で非常に助かりました。感謝しています。前回は20数名、今回は19名の出席がありました。もっと多かかなと思っていたのですが、この年齢になると親の介護をしている方がけっこうおられ、出欠の返事の手紙を見て、ああそんな歳なんだなあと思つづく思いました。卒業して38年、実に長い年月が流れたのですが、皆学生の頃の気持ちに戻り思い出しに花が咲きました。大学も普通寺の街並もすっかり昔と変わってしまいましたが、青春真っ只中を過ごした普通寺、大学。そしてその時期を共有した友だちを大切に思い、また何年後かに計画したいと思ひます。



四国学院向山寮同窓会

藤井実(1989年度社会学科卒業 うるま市在住)

平成29年9月17日に、四国学院向山寮の同窓会を普通寺グランドホテルにて開催しました。その日は、台風18号の影響を受けましたが、久しぶりの再会を心待ちにしていた向山寮OBの熱い思いが通じたのか、四国地方は早い速度で通過しホッとしました。はじめての企画にもかかわらず、卒業が昭和59年から平成2年と年代を通して、千葉から沖縄と各地域から18名のOBが参加しました。懇親会では、昭和61年卒の黒木さんの開会挨拶、昭和59年卒の平岡さんの乾杯の首領から始まり、文字通り「同じ釜の飯を食った」仲間が、「あべかわぜんざい」や当時の寮の風物詩であった「ストーム」など、寮生活の思い出で盛り上がり、最後に寮歌を謳っての閉幕となりました。この度は、現寮生の協力で懐かしい向山寮を見学させて頂きました。寮に保管されている当初のアルバムを見せてもらった時には、感慨深いものを感じました。そして、入試課山田さんには、さまざまな調整、同窓会事務局藤川さんには、名簿作成を快く受けて頂きました。皆さん、有難うございました。



同級生っていいな!

徳平真紀(1980年度社会福祉学科卒業 高知市在住)

6月7日、1977年社会福祉学科入学生の同窓会を開催し、卒業して37年、還暦を迎えるおじさん、おばさんが9人集まりました。容姿は若干(?)変化しているものの、気持ちは20歳。学生時代の話や子供の結婚から孫のこと、親の介護や仕事、そしてこれからのことまで…話は尽きず、あっという間の心地よい2時間半でした。この大学で出会い、一番いい時を共に過ごした仲間たちとの再会に、あらためて「同級生っていいな」と思いました。それから、学内を案内してもらいました。大きく成長し存在感を増したカイズカイクキ、こんなに小さかったかなあと感じた聖恵館、社会福祉を学んだ懐かしい友愛館、そして在学中にはなかったチャペルやトス館など…、時の流れを感じながらも、ここにいると何か大きなものに包まれているような安心感があるのは、大学の「基本理念」がずっと受け継がれてきているからかなと感じた「里帰り」でした。 次回は来年2019年6月8日(土)に開催します。社会福祉学科卒だけではなく1977年度入学生の同窓会が集えるような会にしたいと思っています。参加希望の方は、四国学院大学教員:清水までメールで連絡下さい。kshimizu@sg-u.ac.jp



1970年度社会福祉学科入学生同窓会

2018年5月26日「偕行社かふえ(普通寺)」

鳥越知基(1973年度社会福祉学科卒業 岡山市在住)

普通寺で出会って、およそ半世紀を経ての初めての同窓会となりました。出席者は連絡先のわかった半数の25名で、皆さんいよいよ高齢者になりましたが元気な様子でした。亡くなられた5名へ黙祷を捧げた後、学生時代の出来事や現在の暮らしぶりについて時間を忘れて話に花を咲かせました。途中、パワーポイントで当時の写真を流し、各々が思い出に浸ると共に胸を熱くしました。欠席された方からも心温まるメッセージや近況報告をいただき感謝しています。60数名の小さな学科ではありましたが、この仲間と青春を歩んできたことはかけがえのないものであり、これからもその繋がりを大切にしていきたいと改めて思いました。そして少し元気を頂いたような気がしました。閉会後は多くの者が懐かしのキャンパスを訪れ、そして再会を願いながらそれぞれの地へまた帰っていきました。同級生の皆さんのご健康とご多幸を願うばかりです。



同窓会します!

1978年教育学科入学 2018プレ同窓会のおしらせ

龍本純平(1981年度教育学科卒業 奈良市在住)
With 香川県スタッフ ☺

入学から40年の月日が過ぎ、来年60歳を迎えるにあたり、「2019同窓会」を計画しております。本年はその「2019同窓会」のプレ同窓会として開催し、準備会を発足させたいと計画しております。ぜひご参加ください。

お問い合わせは 龍本純平 メール doragon1959book@softbank.ne.jp

■日時:2018年8月11日(土)山の日10:00~16:00 ■場所:ロゴス館 ■会費:4,000円 ■内容:①準備会発足 ②懇親会(会場移動)

「同窓会を開きたいので名簿が必要です。」と、沢山、連絡をいただくようになりました。四国学院同窓会活動の一つに「ホームカミングの支援」があります。同窓会をお考えの団体は、本部同窓会までご一報ください。申請内容を審査し、譲渡後の取扱・管理にご配慮いただくことを条件に名簿をお渡ししています。情報提供を望まない方については、連絡先を空欄にする対応ができますのでご連絡ください。『ロゴスだより』に載せる「同窓会しました!」「同窓会します!」の原稿もお待ちしております。4月末日までにお寄せください。(同窓会事務局)

同窓会からのお知らせ

四国学院大学学生課外活動支援

四国学院同窓会では、全国大会出場を果たした団体(個人)に対し、寄付および支援金支給により学生の頑張りを応援しています。お住まいの近くで試合がありましたら、温かいご声援をよろしく願いいたします。

2017年度会報発行以降

- 第1回全日本大学サッカー新人戦(2017年12月)5名四国選抜
- 第67回全日本大学野球選手権大会出場(2018年6月)

同窓会封筒広告募集

四国学院同窓会使用の角2封筒に広告を載せてみませんか? 申請内容を確認し役員が掲載有無を決定いたします。
※2019年度使用角2封筒(約20000枚)縦6×横8cm 50000円
●お問い合わせ・申込【四国学院同窓会事務局】

住所変更届のお願い

四国学院大学の催し、各種同窓会等の案内をいたします。「転居先不明」で本会に郵便物が返送されてくる悲しいことになりませんように、ご自身で変更届をしてください。

四国学院同窓会会費納入のお願い

同窓生の皆様におかれましては、同窓会活動にご支援を賜りまして、深く感謝を申し上げます。同窓会活動運営は、会費により成り立っております。皆様からお預かりした会費をいかに有効につかわせていただくかを考え活動しております。しかしながら、年々増える同窓生数により、将来的に同窓会財政が厳しい状況になってきております。過去を調べてみますと、1981年度以前の卒業生は年会費500円、1982から1990年度は年会費1000円で10年分の徴収がされておりました。ついては、会費有効期間が満了しておられる1990年度以前の卒業生約9800人に、会費納入のお願いをさせていただくことといたしました。同窓生お一人お一人のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■対象者と納付額

①1990年度以前の卒業生	25,000円(終身会費のみ)
②1991年度以降の卒業生で会費を納めていない方	30,000円 (入会金5,000円、終身会費25,000円)

■振込方法

同封の「払込取扱票」にてお願いします。通信欄に、卒業年度・学科・旧姓もお書き添えくださるようお願いいたします。

※同窓会会費をすでに納めているか疑問の方はお問合せください。(入金済の方で振込票が同封されている場合は、ご了承ください) ※会費納入が重複した場合を除いて、一旦納入した会費は原則として返還はできません。寄附金とさせていただきます。 ※同窓会会費未納の方は、各種同窓生支援制度等の対象となりません。

四国学院同窓会同窓生支援制度のご紹介

1. 四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度

同窓生および関係者の経済的支援を図り、同窓生本人、同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫が入学する場合、入学金を全額免除する。

2. 四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度

四国学院大学では同窓生の学習意欲を応援しています。教員免許など資格の取得を目標にしていたが、卒業までに必要な単位を修得することが出来ず、改めて資格の取得を目指そうと考えている方、教養を身につけたいと考えている方のために設けられている制度です。

- | | |
|----|---|
| 内容 | ①学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000円免除) |
| | ②学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額) |
| | ③学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額) |
- 四国基督教教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学院を卒業した方で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、上記のとおり免除および減額します。ただし、四国学院大学院生として在籍している者は、対象から除きます。

2018年度主な同窓会活動

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
| 1 同窓生支援制度の実施 | 3 四国学院大学学生課外活動団体(個人)への支援 | 6 支部総会開催 |
| ①「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」 | 4 大学の企画・プロジェクトへの協力・提携 | 7 同窓会会報「ロゴスだより」の発行 |
| ②「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」 | 5 就職支援 | 8 ロゴス館(同窓会館)の運営 等 |
| ③「卒業証明書等発行手続き、大学施設借用手続き代行」 | | |
| 2 ホームカミングの支援 | | |

ロゴス館(同窓会館)

無料開放日 2018年11月17日(土) <受付9月末日迄> 受入には限りがあります。



全景



ホール(約40席)



2階 洋室
(6人,10人)
各1室
1人
1,500円/1泊
シャワー共用



2階 和室
(8人程度)
2室
1人
1,500円/1泊
シャワー共用



3階 個室
(4室)
1室
4,000円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)



3階 和室
(4人2室)
1室
9,000円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)

同窓会の会場やご家族との旅行の宿としてもご利用できます。

【休館日予定】
8月13日~15日
12月30日~1月4日

【お問い合わせ・申込】 四国学院同窓会事務局 ※ホームページから申込ができます。



2018年度より公認心理師プレコースと トレーニング指導者(JATI-ATI)養成コースが新設されました。

2018年度よりキャリア拡充コースに2つのコースが新設されました。公認心理師プレコースは、本学で公認心理師受験資格に必要な科目を履修し、卒業後、条件を満たすことで公認心理師国家試験受験資格を取得できます。公認心理師は心理に関する支援を要する者などに対して、相談及び助言、指導などを行います。トレーニング指導者(JATI-ATI)養成コースは、科学的根拠に基づくトレーニング指導を行う専門家の資格で、本学で定められた科目を全て修得し、協会へ申請を行うことで、受験資格を取得できます。



2018年度キャリア拡充演劇ワークショップ

現在、さまざまな社会現場において、他者との関係を構築しそれを維持する力や自分と意見や考え等が異なる人とも円滑に交流する力、チームワークや協働など、コミュニケーションがベースになる力の重要性が高まっています。それらを学ぶ機会としてプロのフアンリテーターを講師に迎え、実際に教育現場や社会福祉の現場で行われているワークショップを体験し、コミュニケーションやワークショップの有用性について学びます。本講座は教職や社会福祉士国家試験受験資格本学取得を目指す本学学生が受講しています。どなたでも見学自由です。2018年度は、5月12日(土)13日(日)に林成彦氏、6月2日(土)、3日(日)にわたなべなおこ氏を講師として実施し、7月7日(土)、8日(日)には田野邦彦氏、10月20日(土)21日(日)は菅原直樹氏を講師に迎え実施する予定です



問合せ先 四国学院大学 学生 commons 支援課 TEL:0877-62-3966



2018年度 第1回レクチャーシリーズ 『大学・高校教育研究21』

筑波大学附属駒場高等学校 平田知之氏を招き、教育関係者の方を対象に、現場で活かせるコミュニケーション教育に関する講演会を実施します。講演会の後は、平田知之先生と本学の平田オリザ学長特別補佐による対談も行われます。



日時 8月23日(木) 14:00~16:00 ノススタジオ

※詳細は後日、四国学院大学HPにてお知らせします。

問い合わせ・申込先 〒765-8505 善通寺市文京町3-2-1
TEL: 0877-62-2111(内線:545)
四国学院大学 FAX: 0877-62-2208
リエゾン・センター E-mail: liaison@sg-u.ac.jp



ノスクール 音楽劇 『長ぐつをはいたねこ』

ノススタジオでは、地域の方々にアートとふれあい、言葉とからだを通して表現する経験を提供することを目的とする教育プログラム、ノスクールを定期的に開催しています。身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーの特徴を生かしたワークショップを実施し、新しい劇場のあり方を常に模索しています。今回はピアノの生演奏、演劇とダンスで音楽劇『長ぐつをはいたねこ』(2018年8月18日(土)、19日(日))を子どもたちも参加できる形で上演します。



問合せ先 四国学院大学 学生 commons 支援課
TEL:0877-62-3966



SARP vol.15 (演出 江本純子)

四国学院大学・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(通称SARP/サープ)とは、四国学院大学の身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーが主体となって制作する公演の名称です。毎回、プロの演出家・振付家が大学内の宿泊施設に1ヶ月以上滞在し、学生キャスト・スタッフとともに一般観客の鑑賞に耐えうるレベルの高い舞台作品を創作し上演することを目指します。Vol.15では、劇作家・演出家・俳優の江本純子氏をお招きし、江本氏演出の作品を上演(2018年7月25日(水)~29日(日))します。

問合せ先 四国学院大学 パフォーミング・アーツ研究所(SIPA) TEL:0877-62-2324



四国と世界、グローバルなアートマネジメント人材育成を目的とした 『四国学院大学アートマネジメント公開講座2018』

「地域性と国際性を同時に兼ね備えたアートマネジメント人材育成」を目指し、四国学院大学学長特別補佐である平田オリザ氏をスーパーバイザーとして迎え、四国学院大学准教授、西村和宏、阪本麻郁、仙石桂子がプログラムディレクターとして開講。3つのカテゴリーに分けた講座を設け、参加者のキャリアや目的、居住地によって自由に組み合わせ可能な講座です。

日時 2018年6月15日(金)~2019年3月31日(日) ※詳細は四国学院大学HPをご参照ください。



事務所閉室期間中の証明書の発行

2018年は8月13日(月)~16日(木)の期間中、事務所が閉まります。この間、卒業・成績証明書等は、発行停止となりますので、就職活動や進学等で証明書の必要な方は、早めに申込みをしてください。



予約型支給奨学金

この奨学金は、本学を第一志望とする方で、経済上の事情で修学困難な学生への支援を目的にしたものです。入試出願前に申請いただき、審査の結果、採用となった方に入学後の奨学金支給を事前にお約束いたします。支給額は年間200,000円(原則4年間)で、返済義務はありません。**問合せ先** 入試課 フリーダイヤル 0120-459-433



スクール・ソーシャルワーカー活用講座 in SGU 2018

事前
申し込み
必要

現在、国は子どもの抱える問題や課題の解決に向けてチーム支援を唱えており、益々職種間の専門性を活かした支援が求められます。本講座では、子どもを支える視点と多職種協働によるチーム支援の方法を教授します。

プログラム
日時

- ①7月25日(水) 13:30~15:00
- ②8月8日(水) 13:30~15:00
- ③8月22日(水) 13:30~15:00
- ④9月19日(水) 13:30~15:00
- ⑤10月24日(水) 13:30~15:30
- ⑥11月21日(水) 13:30~15:30

会場 四国学院大学 駐車場あり(1回300円) **受講料** 500円/1回



2018年度 ソーシャルワーク・スクール

相談援助業務に携わっている方々を対象に開講します。社会福祉学部の教員たちが講義と演習を通してスキルアップを応援します。

開講期間 2018年9月1日(土)~12月8日(土)
13:00~16:10(隔週土曜日 全8回)

会場 四国学院大学

問い合わせ・申込先

四国学院大学リエゾン・センター TEL: 0877-62-2111(内線:545) FAX: 0877-62-2208
〒765-8505 善通寺市文京町3-2-1 E-mail: liaison@sg-u.ac.jp



介護福祉士を取得したい方へ

四国学院大学を卒業後、四国学院大学専門学校に入学し卒業することで、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できる制度が導入されています。本学卒業生は、入学金が免除になります。また、香川県の修学資金制度を利用する場合、卒業後、香川県内で介護業務に就き5年間従事すれば、最大168万円の返済が免除になります。(他県での修学資金の利用もできます。)

また、四国学院大学専門学校内に介護福祉士実務者研修センター<通信制>が設置されました。現在介護業務に従事していて、介護福祉士の資格を考えている卒業生の方は、必須課題として実務者研修修了が受験資格になります。通信の良さは自宅で自分のペースで学べる事です。受講料は現在修了済みの研修等によって金額が変わりますが、本学卒業生は3万円の受講料割引があります。介護福祉士を目指そうとしている方は、四国学院大学専門学校にご相談ください。

問合せ及び資料請求先

学校法人瀬戸内学院 四国学院大学専門学校

フリーダイヤル:0120-72-5192
E-mail: info2@setouchi.ac.jp



社会福祉士・精神保健福祉士の受験をお考えのみなさまへ

昨年度に引き続き、卒業生も本学キャンパスで「社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」(主催:日本ソーシャルワーク教育学校連盟)を受験することができます。受験対策にぜひご活用ください。詳しくは、大学ホームページ「卒業生の方へ」をご覧ください。

2018年度 第57回四国学院大学祭

11月18日(日)に開催します。

問合せ先

四国学院大学大学祭実行委員会
4gaku.fes@gmail.com



四国学院大学
LINE@



最新の大学情報を配信!友だち登録お待ちしています。

Facebookも更新中!

<https://www.facebook.com/shikokugakuin/>

見て、聴いて、触れて、感じる。四国学院大学の雰囲気直接体験してみよう

2018年度オープンキャンパス

大学紹介、モデル授業、演劇体験ワークショップ、個別相談会、キャンパスツアー、保護者対象説明会、その他多数のプログラムを実施いたします。お気軽にご来場ください。

7/月・祝 16

11:00~15:30

※こどもひろば2018
同日開催

8/11
土・祝

11:00~15:30

9/17
月・祝

11:00~15:30

オープンキャンパスや入試に関する
お問い合わせ・資料請求は

入試課



0120-459-433

TEL0877-62-3964(入試課直通)

E-mail info@sg-u.ac.jp HP <http://www.sg-u.ac.jp>

オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。無料送迎バスルートについて、詳しくはホームページをご参照ください。